



# 防災だより 2022年2月号

第 35 号  
 令和4年02月28日発行 関ヶ谷自治会 防災部/防災ボランティアグループ  
 ☆防火チーム☆情報・通信・電気チーム☆食料・物資チーム☆医療・介護チーム ☆防災資機材取扱チーム 自治会館 ☎784-4447

## 高齢者アンケート集計結果

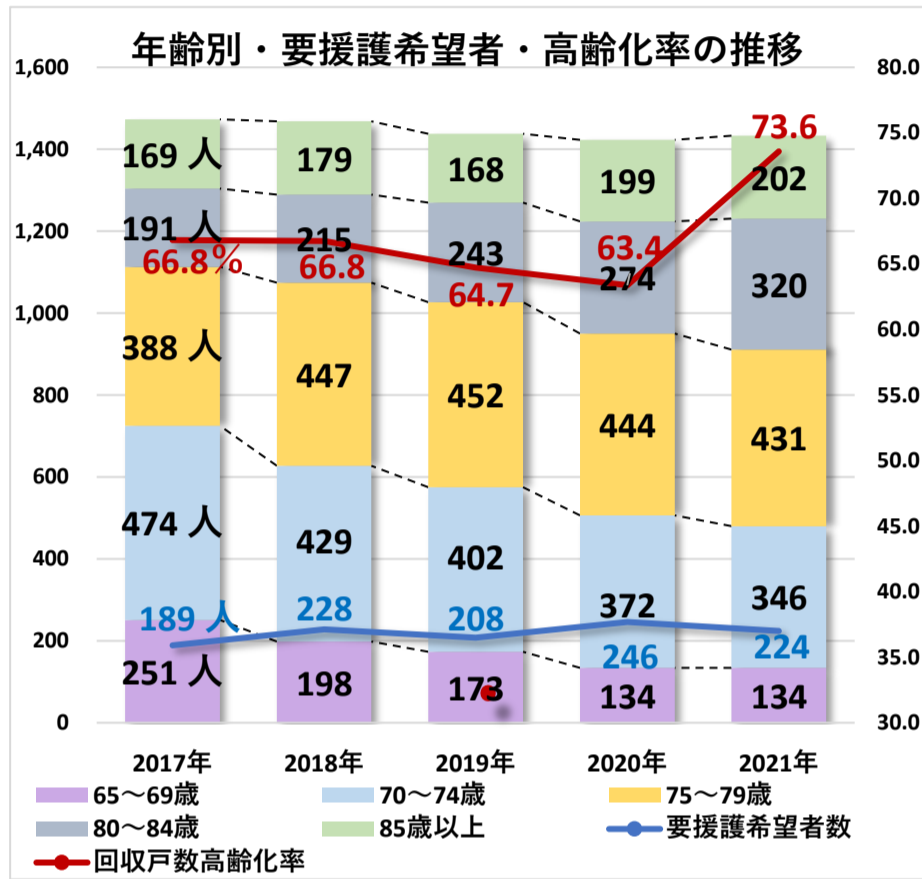
毎年行っている民生委員の「高齢者アンケート」につきまして、以下の通り集計ができました。アンケートにご協力いただきました皆さま、班長さん等ありがとうございました。

下表のとおり地域の高齢化率がさらに高まり回収戸数での推計では 73.6%(前年比 10.2%増)となっています。ちなみに国内の高齢化率は 28.7%(2020年)です。一方で要援護を希望される方が前年より 22 名減っています。健康な方が増えたのか、希望を辞退する方が増えたのかはつきりしません。

アンケート全体回収率が下がった原因としては、災害時に関するアンケートが微妙に影響しているのではないかと思います。



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
配布戸数	1,132	1,121	1,112	1,105	1,087
回収戸数	950	952	962	972	843
回収率	83.9	84.9	86.5	88.0	77.6
配布戸数推定人口	2,626	2,590	2,569	2,553	2,511
回収戸数推定人口	2,204	2,199	2,222	2,245	1,947
要援護希望者数	189	228	208	246	224
回収人口に占める要援護希望者割合	8.6	10.4	9.4	11.0	11.5
65～69歳	251	198	173	134	134
70～74歳	474	429	402	372	346
75～79歳	388	447	452	444	431
80～84歳	191	215	243	274	320
85歳以上	169	179	168	199	202
合計	1,473	1,468	1,438	1,423	1,433
配布戸数高齢化率	56.1	56.7	56.0	55.7	57.1
回収戸数高齢化率	66.8	66.8	64.7	63.4	73.6



※配布・回収推定人口は、戸数に 2.31 倍(世帯当たり人口)して求めています。

今回の要援護希望者は 224 人、回収人口に占める要援護希望者割合は前年0.5%アップの 11.5%でした。防災ボランティア・グループ(VG)一人当たりの担当人数は 3.2 人となりました。前年が 3.5 人でしたので、少しばかり担当人数が減りました。

今後、回収したアンケートにより要援護希望者宅への訪問活動を春の終了をめどに実施いたします。顔がわかる関係づくりを進めてまいります。

## 電気火災にご注意を！

電化製品などが火元となる「電気火災」が、増加傾向となっています。横浜市内の昨年は、過去最多の183件(前年比45件増)の火災がありました。全火災の4分の1になります。

灯油やガスを使う製品より安全なイメージがありますが、市消防局は「適切な使い方をしないと火災につながるおそれがある」と注意を呼びかけています。

市消防局が発表した火災概況(速報)によると、市内で昨年発生した火災は696件で前年より72件増加。内訳は、建物火災463件中住宅火災304件、車両火災56件、船舶火災2件、その他175件。

主な原因は「放火(疑いを含む)」「こんろ」「たばこ」「電気機器」「配線器具」の順となっています。計20人が死亡し、17人が65歳以上の高齢者。なかでも、「電気火災」が大幅に増加しました。リチウムイオン電池が突然発火したり、電気ストーブの近くに置いた物が燃えたりしたほか、劣化した電源タップがショートするなどして火元になったケースが多かった。市消防局予防課の宇多範泰課長は「リチウムイオン電池は充電のしすぎや強い衝撃で発火することがあります。電気ストーブも火災の危険は灯油やガス製品と同じ。取り扱いには十分注意してほしい」と話しています。

## 横浜市内の火災件数と電気火災の割合



## “津波フラッグ”が掲出されたら速やかに安全な場所に避難する

日本時間の15日13時10分ごろ、南太平洋・トンガの火山島で発生した大規模な噴火の影響を受け、神奈川県内では、1月16日未明に藤沢、茅ヶ崎、平塚、大磯などを含む太平洋側の広いエリアに津波注意報が発表されました。

この津波は、東京大地震研究所によると、地球を周回する特殊な強い空気の振動「大気波動」が原因ではないかとのこと。火山噴火での確認は、近代的な観測が始まった1980年代以降では初めて。気圧を上昇させ、津波を生じさせた可能性があるそうです。

この津波注意報の発令に伴って、片瀬海岸では新江ノ島水族館の裏に赤と白の格子模様の「津波フラッグ」(写真参照:長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザイン)が掲出されました。(湘南経済新聞)津波フラッグは、令和2年夏より、全国の海水浴場や海岸付近で導入する取組が始まりました。津波フラッグが掲揚された場合、大津波警報、津波警報及び津波注意報等が発令されていることがありますので、速やかに避難を開始して下さい。

ライフセーバーの掲揚のほか、旗を建物に掲げるなど他の手法によって掲揚されることがあります。



## ローリングストックを実践していますか？

防災 VG 第2区リーダー 小川 多江子

「ローリングストック」とは普段から少し多めに食品を買っておき、賞味期限の古いものから消費し、使った分だけ買い足していくことで常に一定の食品を備蓄しておく方法です。ローリングストックを実践する上で覚えておきたい3つのポイントがあります。

### POINT 1 ストックするのは「食べなれた食品」

- ・水(1人1日3L)
- ・卵
- ・肉、魚 ランチョンミート、ソーセージ、焼鳥の缶詰、鯖缶、ツナ缶など
- ・野菜類 トマト缶、コーン缶、切り干し大根、野菜ジュース、豆乳など
- ・果物 バナナ、みかんなど
- ・レトルト食品 カレー、中華丼など
- ・乾物類 ワカメ、麩、ひじき、豆のドライパックなど
- ・その他 チーズ、フリーズドライの味噌汁、カップスープ、食パン、シリアル、栄養補助食品、ゼリー飲料など
- ・お菓子 ようかん、クラッカーなど

### POINT 2 備蓄した食品は「普段から食べる」

賞味期限や保存した日付の古いものから順に日常の食事でも食べることが大切です。管理しやすい目にする場所に収納し、賞味期限切れにならないように注意します。

### POINT 3 食べた分は「早めに補充」

消費した分は忘れずに買い足しましょう。

今回言葉だけは知っていたローリングストックを実践してみようと調べたのには訳があるのです。まさにPOINT2の注意である賞味期限切れの食品、非常食として備蓄したおかずの缶詰やパンの缶詰、クラッカーなどが我が家にあるからなのです。

POINT1とPOINT3についても「あっ、これなら我が家にもあるじゃない」と思ったものの、ある物は安いからとつい多く買い込んでいたり、ある物は使ってしまったままだったりです。これからは気をつけようっと。

そうそう、賞味期限切れの食品ですが、“消費期限切れ”ではないのでちゃんと頂いていますよ。

おかげでこのところ、食卓に小鉢が一品(おかず缶)増えています。

「もしも」の時に「いつも」の食品を災害食に、3つのポイントをおさえて賢くローリングストックしませんか。

《備蓄の目安 家族の人数×最低3日分 できれば1週間分》



民生委員の日常・・・

## 『まもるくん』とは

民生委員 第二地区担当 乙川 さよ子

まもるくんとは、大切な方が、外出先で緊急搬送された！警察に保護された！迷子になった！場合、「まもるくん」を身につけていたら病院・警察・消防や発見者が【西金沢ケアプラザ】へ連絡します。西金沢ケアプラザから必要な情報を提供します。ただ、対応は西金沢ケアプラザ開館時となります。

### 【まもるくん】

1. 対象者:西金沢ケアプラザエリア在の65歳以上の方
2. お申込み:①西金沢ケアプラザで登録・申請手続きをします。②ご本人またはご家族でお申し込みください。
3. 登録に必要な物:①本人確認証(介護保険証・健康保険証など) ②ホルダー代 200円(写真参照)  
登録して【まもるくん】のホルダーを受け取ったら、外出時かばんや杖などに【まもるくん】をつけてください。

お問い合わせ:西金沢ケアプラザ

・TEL: 045-788-2228 ・月～土 9時～18時 ・日祝日 9時～18時 ・12/29～1/3は休館

